

■ 接続図表

		マルチ高機能調光タイプ NQ28752W/S、NQ28732W/S	マルチ調光タイプ NQ28751W/S	マルチON/OFFタイプ NQ28750W/S
調光	LED (明るさフリー [LD・LZ])	<p>※図はNQ28752の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源及び負荷出力線には、φ1.6またはφ2.0の銅単線を使用してください。 ●調光信号線は、EM-CPEE (CPEV) φ0.9またはφ1.2×1ヘアを使用してください。 ※ただし、負荷の切替スイッチは「LED調光」の位置でご使用ください。 	<p>LDの場合 LZの場合</p>	不可
	蛍光灯 (明るさフリー)	<ul style="list-style-type: none"> ●電源及び負荷出力線には、φ1.6またはφ2.0の銅単線を使用してください。 ●調光信号線は、EM-CPEE (CPEV) φ0.9またはφ1.2×1ヘアを使用してください。 ※ただし、負荷の切替スイッチは「蛍光灯調光」の位置でご使用ください。 	<p>負荷切替スイッチ</p>	不可
	LED (明るさフリー [LC]) ・ 白熱灯	<p>(LED使用の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源及び負荷出力線には、φ1.6またはφ2.0の銅単線を使用してください。 ●LCを接続する場合は必ず1回路当り1台調光インターフェイスを接続してください。 ※ただし、負荷の切替スイッチは下図の位置でご使用ください。 <p>(白熱灯使用の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源及び負荷出力線には、φ1.6またはφ2.0の銅単線を使用してください。 ※ただし、負荷の切替スイッチは下図の位置でご使用ください。 	<p>LCの場合</p> <p>負荷切替スイッチ</p>	不可
	ON/OFF (白熱灯・蛍光灯・LED)	<p>※ただし、負荷の切替スイッチは「ON/OFF」の位置でご使用ください。</p>	<p>負荷切替スイッチ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●電源及び負荷出力線には、φ1.6またはφ2.0の銅単線を使用してください。
負荷増設	白熱灯の 負荷容量を 増やす場合 1500W(1.5A)まで 1500W プースタ (NQL10001)	<ul style="list-style-type: none"> ●電源及び負荷出力線には、φ1.6またはφ2.0の銅単線を使用してください。 ※プースタを接続する場合は、負荷切替スイッチを「白熱灯調光」の位置でご使用ください。 	<p>負荷切替スイッチ</p>	不可
	LED・蛍光灯 (明るさフリー)の 負荷容量を 増やす場合 200W(2A) LED15台/電圧 50台まで 連続調光用・ インバータ照明器具用 プースタ (NQL10021)	<ul style="list-style-type: none"> ●電源及び負荷出力線には、φ1.6またはφ2.0の銅単線を使用してください。 ●調光信号線は、EM-CPEE (CPEV) φ0.9またはφ1.2×1ヘアを使用してください。 ※プースタを接続する場合は、負荷切替スイッチを「白熱灯調光」の位置でご使用ください。 	<p>負荷切替スイッチ</p>	不可
	蛍光灯 (明るさフリー)の 負荷容量を 増やす場合 200W(2A) 超え・ 8台まで プースタなし	<ul style="list-style-type: none"> ●電源及び負荷出力線には、φ1.6またはφ2.0の銅単線を使用してください。 ●調光信号線は、EM-CPEE (CPEV) φ0.9またはφ1.2×1ヘアを使用してください。 	<p>負荷切替スイッチ</p>	不可
システム連動	親器・親器・ シーン選択子器	<ul style="list-style-type: none"> ●親器2台、子器3台まで接続可能。 ●電源及び負荷出力線には、φ1.6またはφ2.0の銅単線を使用してください。 ●調光信号線は、EM-CPEE (CPEV) φ0.9またはφ1.2×1ヘアを使用してください。 ●伝送信号線は、EM-CPEE (CPEV) φ0.9またはφ1.2×2ヘアを使用してください。 	<p>不可</p>	不可